事例 1

ベッド数の増加等による業務フローの見直しとPOSシステムの導入による業務効率化と来院者数の増加

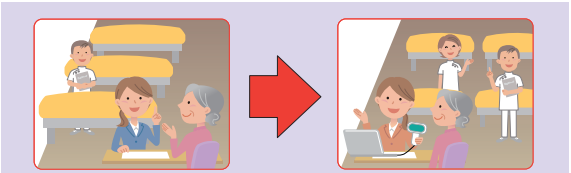
【所在地】 静岡県　　**【従業員数】** 3人
【事業の種類】 接骨院
【課題と対応】 来院者数の増加が課題であったため、受付・精算時間の短縮や施術可能人数の拡大を検討していた。

来院者の受付・精算や施術に時間がかかっていました。また、有資格者数や受入設備数の制約により、来院者を待たせてしまうことも度々ありました。
そこで、**助成金を活用してコンサルタントによる業務フローの見直しとPOSシステムを導入しました。**

業務効率化を図って、来院者数を増加させたい

事業主

〈導入前〉　〈導入後〉



受付・精算時間が約1／2に短縮、施術作業に要する時間が平均9％短縮、来院者数が16％増加

施設職員全員を対象に、毎朝の朝礼や月2回のミーティングを行い、コストダウンの意識付けを行っている。

- 来院者情報をバーコード管理することによる受付・精算にかかる時間の短縮と、ベッド数の増加、柔道整復師（有資格者）の増加、治療内容の時間配分の調整等の施術フロー見直しにより、施術可能人数が増大したことで、来院者数が増加した。
- 受付・精算や施術にかかる時間の短縮と来院者の受入れ体制の改善を行ったことによって生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を60円引き上げた。

助成金活用のポイント

コンサルタントによる業務フローの見直しとPOSシステムを導入したことで、業務の効率化と来院者数の増加につながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 2

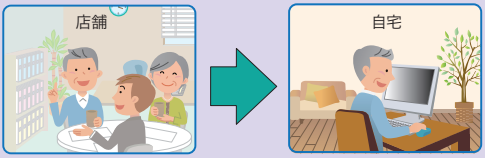
ホームページ用見積もりシステムの導入による業務効率の向上

【所在地】 山形県　　**【従業員数】** 6人
【事業の種類】 葬祭業
【課題と対応】 見積もり作成の負担軽減が課題であるため、営業担当を介さず、顧客自身が見積もりできるような仕組みを検討してきた。

顧客先を訪問したり顧客に来店してもらったりして、要望を1つ1つ確認しながらすべての見積もりを人手で作成するのは、時間がかかる状況でした。
そこで、**助成金を活用してホームページ用見積もりシステムを導入しました。**

顧客が、いつでも自分で見積もり額がわかるような仕組みを提供したい

〈導入前〉　〈導入後〉



見積もりを作成する時間が短縮

利用後の顧客の声を従業員全員で共有し、よかった点や今後改善すべき点等を明らかにして、よりよいサービスの提供に活かしている。

- 以前は見積もり依頼に応じて見積もりを作成する必要があったが、ホームページ用見積もりシステム導入後は、顧客が自分で見積もりを作成した上で詳細な商談に入ることが多くなったので、成約率も向上することとなった。
- 見積もり作成にかかる時間の短縮及び成約率の向上によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を60円引き上げた。

助成金活用のポイント

ホームページに見積もりシステムを掲載したことで、見積もり作成業務の効率化と、成約率の向上につながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 3

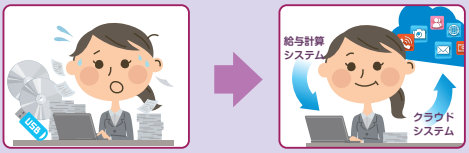
顧客データ管理のクラウド化と給与計算システムの導入による管理業務の効率化

【所在地】 宮崎県　　**【従業員数】** 3人
【事業の種類】 行政書士・社会保険労務士業
【課題と対応】 従業員のモチベーションアップが生産性や売上の向上につながると考えているため、従業員の業務負担の軽減や業務平準化、柔軟な人員配置を図ってきた。

顧客データをCDROMやUSBメモリで管理していたため、管理が煩雑で安全面に不安がありました。また、顧客の賃金計算も従業員が手入力で行っていたため、作業に時間がかかり、ミスも発生していました。そこで、**助成金を活用して顧客データの管理をクラウド化し、給与計算システムを導入しました。**

顧客管理を簡素化し、顧客の給与計算にかかる時間短縮と作業ミスを軽減したい

〈導入前〉　〈導入後〉



顧客のデータ管理・給与計算作業が30%短縮

業務を平準化し、従業員一人一人が他業務も担当できるような体制を構築することで、繁忙期や突発的な休暇にも対応している。

- データ管理及び入力にかかる時間が短縮するとともに、データセキュリティ面の強化や、従業員を他の業務へ割り当てるといった柔軟な人員配置が可能となった。
- 顧客管理及び顧客の給与計算にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を50円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の時間給も一律50円引き上げた。

助成金活用のポイント

顧客のデータ管理をクラウド化し、給与計算システムを導入したことで、管理業務の効率化につながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 4

原価管理・生産管理システムの導入による業務効率化

【所在地】 鳥取県　　**【従業員数】** 10人
【事業の種類】 障害者福祉事業
【課題と対応】 就労継続支援事業における施設利用者の多様な作業機会を確保するために、製作する製品が、自動車部品、電気部品、紙製品、みやげ品等徐々に拡大し、その管理のための負担も増大していたので、生産管理業務の効率化を図ろうとした。

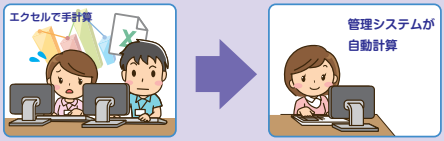
原価管理や生産管理をエクセルによる手入力で行っていたため、労力を要していました。そこで、**助成金を活用して原価管理・生産管理システムを導入しました。**

手作業による管理は時間がかかる

代表者

管理業務を効率化するために、原価管理・生産管理システムを導入したい

〈導入前〉　〈導入後〉



原価管理・生産管理の作業時間が75%短縮

代表者と所長が中心となって、管理者間のコミュニケーションを密に図り、施設利用者に柔軟な対応ができるよう努めている。

- 原価率の管理や生産状況の把握などが一元的に実施できるようになり、データの入力や図表の作成に要する時間が短縮した。それにより、施設内で働く障害者の個別の対応に注力し、一人一人の障害に応じて力を発揮できるような環境整備の検討や実施に時間を使うことができた。
- 生産管理にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、6人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

原価率や生産状況を一元管理できるシステムを導入したことで、生産管理業務の効率化につながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 5

ローション（保湿）ポケットティシュ加工機への改良による生産能力拡大・品質向上・新規顧客開拓

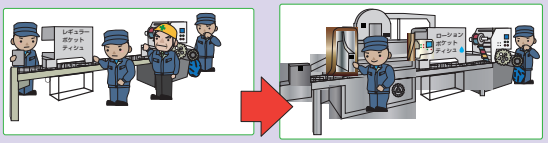
【所在地】 高知県　　**【従業員数】** 52人
【事業の種類】 製紙・紙加工製造業
【課題と対応】 ローションティシュの生産量増加と品質の向上を図るため、設備投資による業務改善を検討してきた。

旧式のローションティシュ生産ラインに限界があり、保湿され肌触りの良いローションティシュの需要量に応じた生産ができない状況でした。そこで、**助成金を活用して現有のレギュラー（通常）ポケットティシュ加工機をローションポケットティシュ加工機に改良しました。**

機械の改良でローションティシュを増産するとともに品質も高めて、新規顧客の開拓にもつなげていきたい

常務

〈導入前〉　〈導入後〉



機械の改良で必要人員は4名から2名に、
ローションティシュ加工機が2台体制となり生産量が倍増

生産性向上に向けて、職位者会議を毎月開催し、各部門で問題点等の洗い出しを行っている。

- ローションティシュ加工機が２台体制となったことから、ローションティシュの営業活動に注力し、複数の大手小売りチェーンとの販売契約を取り付けることができた。
- 高付加価値品の生産量の増加によって生産性が向上し、6人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を60円引き上げた。さらに、他のパート従業員についても賃金の逆転現象が起こらないように賃金の引上げを行った。

助成金活用のポイント

現有機材からローションポケットティシュ加工機に改良したことで、生産能力拡大と品質向上及び新規顧客開拓が可能となった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 6

石油系溶剤の温度調整機とメンテナンスフリーのコンプレッサーの導入による作業時間の短縮

【所在地】 山口県　　**【従業員数】** 17人
【事業の種類】 クリーニング業
【課題と対応】 従業員の労働環境の改善が課題であるため、設備投資による業務軽減と安全性の確保を検討してきた。

従業員が石油系溶剤の温度調整業務に時間外労働でも対応し、機材のメンテナンス業務にも時間を要していたため、業務効率化を検討してきました。
そこで、**助成金を活用して石油系溶剤の温度調整機とメンテナンスフリーのコンプレッサーを導入しました。**

従業員の時間外労働を削減したい

代表取締役

安全性の確保と品質を向上したい

〈導入前〉　〈導入後〉

メンテナンスフリー機器の導入により時間外労働が50%削減、再洗い・後処理作業が40%削減

従業員が作業効率化の意見や希望を出しやすい組織風土を醸成しており、若手向けにベテラン従業員によるＯＪＴ教育も行っている。

- 石油系溶剤の温度調整や機材のメンテナンス業務に要する時間がなくなったことで、労働時間が短縮するとともに、納期遅れに対するクレームが減り売上げも増加した。
- 温度調整及びメンテナンスにかかる時間の短縮によって生産性が向上し、14人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を40円引き上げた。

助成金活用のポイント

石油系溶剤の温度調整機とメンテナンスフリーのコンプレッサーを導入したことで、従業員の作業時間の短縮につながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 7

ステンレス製型枠* の導入による工期の短縮と施工精度の向上

【所在地】 新潟県　　**【従業員数】** 26人
【事業の種類】 建設業
【課題と対応】 橋の工事に使う木製の型枠の作成と設置に時間がかかることが課題であるため、設備投資による業務効率化を検討してきた。

工事の際に木製の型枠を作成し使用していましたが、使用して3回で廃棄し新たに作る必要があることから、型枠の作成に時間と費用がかかっていました。
そこで、**助成金を活用してステンレス製型枠を導入しました。**

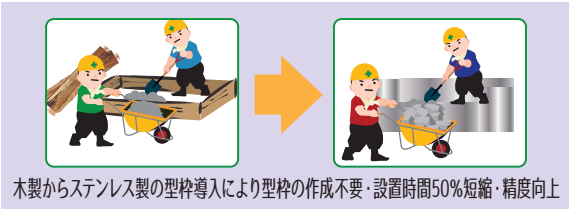
(*)コンクリートを流し込んで建造物の柱や壁等を形成するための枠板

木製の型枠の作成に時間と費用がかかっている

代表

ステンレス製の型枠を導入して、工期の短縮を図りたい

〈導入前〉　〈導入後〉



- ステンレス製型枠を導入したことで、型枠の作成や設置にかかる時間が短縮され、現場の施工精度が高まるとともに、コスト削減にもつながった。
- 型枠の作成にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、3人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を60円引き上げた。さらに、他の従業員との差異がうまくバランスするよう、他の従業員の賃金も引き上げた。

助成金活用のポイント

ステンレス製型枠を導入したことで、工期の短縮と現場の施工精度が高まるとともに、コスト削減にもつながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 8

四角隅を清掃できる専用機材（角型振動磨き機）の導入による業務効率化

【所在地】 秋田県　　**【従業員数】** 13人
【事業の種類】 清掃業
【課題と対応】 売上の拡大が課題であるため、他社にない機器の導入や業務改善を検討してきた。

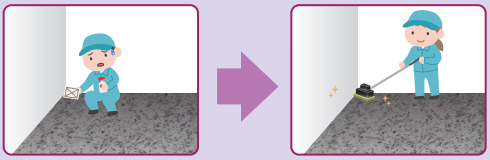
四角隅の狭いエリアの清掃作業を手作業で行っていましたが、作業時間がかかっていました。そこで、**助成金を活用して四角隅を清掃できる専用機材（角型振動磨き機）を導入しました。**

四隅の狭いエリアの清掃作業に時間がかかっている

社長

手作業で行っている清掃業務を機械化したい

〈導入前〉　〈導入後〉



1回の作業時間が20%短縮

- 手作業で行っていた清掃業務を機械化することで、清掃時間が短縮し、業務効率化につながった。
- 現場（四角隅）の清掃にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、5人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を30円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

四角隅を清掃できる専用機材（角型振動磨き機）を導入したことで、業務効率化につながった。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

事例 9

ラベルプリンターの導入による業務効率化

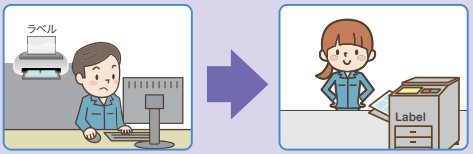
【所在地】 青森県　　**【従業員数】** 11人
【事業の種類】 飲食料品小売業
【課題と対応】 人手不足のため業務効率化が課題であるため、作業効率の改善に取り組んでいた。

商品貼付用のラベル作成・印刷業務は、機器の操作が煩雑で、手順のわかる従業員のみが付きっきりで行う必要があったことから、時間がかかっていました。そこで、**助成金を活用してラベルプリンターを導入しました。**

ラベルの作成・印刷を、短時間で誰もが行えるようにしたい

店長

〈導入前〉　〈導入後〉



ラベル作成・印刷の作業時間が6分の1に短縮

毎週開催の店舗ミーティングと毎月開催の全社ミーティングにより、経営層と現場の意思疎通が図られている。

- 以前はパソコンで各ラベルのデザインやレイアウトの作成・印刷をスキルのある担当者が付きっきりで作業していたが、ラベルプリンターの導入により、誰でも簡易な操作で作業可能となり、作業時間も短縮された。また、従業員を他の新事業開始のための業務へ配置することができた。

- ラベル作成・印刷業務にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、7人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を40円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金以外の従業員の賃金の引上げを実施した。

助成金活用のポイント

ラベルプリンターを導入したことで、業務効率化と売上拡大につながる取組ができた。

（※平成28年度時点の制度に基づく事例）

業務改善助成金の業種別活用事例

No	業 種	取 組 概 要
1	農業,林業	野菜簡単計量器の導入により、青果物の小分け袋詰め作業効率が50%向上。
2	建設業	経営コンサルタントによる現場管理システムの導入、社員教育及び社内研修の実施により、作業内容の改善、従業員の意識改善が図れ、業務効率が向上。
3	製造業	作業所移転による工程と動線の改善により、業務効率が向上。
4	情報通信業	ウェブサイトのメール配信システム導入・デザイン変更により、会員へのメール配信作業が60分から30分に短縮、問い合わせ対応時間の減少、非接触型スキャナーの導入により、資料読込みのための裁断作業（1冊1.5時間）が不要に。
5	タクシー業	CTIによるタクシー配車システムの導入により、配車処理の円滑化、乗務員の最短距離・時間での移動が可能。
6	パン・洋菓子小売業	新型フードプリンタの導入により、ケーキのデコレーション作業時間が90%短縮。
7	金融業,保険業	保険顧客管理システムの導入により、照会時間の短縮によって1回の相談対応時間が（60分が50分に）10分短縮され、1日当たり、より多くの顧客対応が可能。
8	レンタカー	高圧温水洗浄機の導入により、洗車時間が30分短縮。
9	司法書士事務所	コールセンター対応ホームページの作成により、受注見込みの高い案件に絞った対応が可能となり、相談対応時間が2/3短縮、顧客管理システム、システム用モニターの導入により、顧客の債権管理業務が大幅短縮。
10	飲食店	POSレジ・顧客管理システムの導入により、会計業務は50%、在庫管理業務は95%短縮、DM作業は100%自動化。
11	旅行業	多言語対応の決済機能付き商取引システムの導入により、発注・決済業務時間が50%短縮。
12	学習塾	電磁黒板の導入により、板書作業時間が80%短縮。
13	介護福祉	貯水タンクの導入により、シャワーの勢いが増し、入浴介助業務が30分短縮、車いすから助手席への移乗が容易な回転式助手席付福祉車両の導入により女性スタッフも送迎可能に。
14	職業紹介・労働者派遣業	ネットワークによる業務管理システムの導入で、客先からのデータ送信の自動計算業務が行え、作業時間が月12時間短縮。

- 上記事例は、平成28年度交付決定事業場の中から記載。
- 業務改善助成金のより詳細な助成事例については、厚生労働省のHPで記載しています。

ホーム ＞ 政策について ＞ 分野別の政策一覧 ＞ 雇用・労働 ＞ 労働基準 ＞ 賃金 賃金引上げ、労働生産性向上　で、目次の「2．最低賃金・賃金引上げに向けた生産性向上等の支援」をクリック、◯生産性向上の事例集 ～最低賃金の引上げに向けて～ で「業務改善助成金全業種導入事例」をクリック

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/chingin/index.html